

- 問1 1858年に井伊直弼がアメリカと締結した日米修好通商条約において、日本側の主権が侵害されていたとされる「関税自主権」の問題について、その説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 輸出入の総額を幕府が制限することを禁じられ、すべての品物を無税で流通させなければならなかったこと。 | 2. 港での検疫や入港手続きをすべて外国の役人が行うため、日本側が手数料を受け取れなかったこと。 | 3. 日本国内で外国人が商売を行う際、その利益に対して日本政府が一切課税できなかったこと。 | 4. 輸入品にかかる税率（関税）を、日本が独自に決めることができず、相手国との協議によって決めなければならなかったこと。 |
|--|--|---|--|
- 問2 幕末に広まった「尊王攘夷」という思想の内容について、その目的や背景を正しく説明したものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 天皇を政治の中心に据えて敬うとともに、日本に迫る外国の勢力を武力で排除しようとする考え。 | 2. 西洋の進んだ制度や文化を積極的に取り入れ、日本の社会全体を急速に近代化させようとする考え。 | 3. 日本古来の精神を大切に保持しながら、西洋の優れた科学技術だけを導入しようとする考え。 | 4. 朝廷と幕府が協力（合体）することで、国内の混乱を鎮めて政治を安定させようとする考え。 |
|---|--|---|---|
- 問3 長州藩は当初、外国勢力を排除しようとする攘夷運動の急先鋒でしたが、四国艦隊による下関砲台占領という事態を経験したことで、その方針を大きく転換させることになりました。この出来事のあとに、長州藩が倒幕を実現するためにとった行動の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|--|-------------------------------------|---|
| 1. 幕府を支えて公議政体を作り上げるため、会津藩と同盟を結んだ。 | 2. 攘夷を継続するため、朝廷に対して江戸幕府の役職を辞任するよう要求した。 | 3. 外国の軍事力を借りるため、アメリカと新たな不平等条約を締結した。 | 4. 対立していた薩摩藩と密かに手を結び、武力によって幕府を倒す準備を進めた。 |
|-----------------------------------|--|-------------------------------------|---|
- 問4 1858年、江戸幕府がアメリカの総領事ハリスとの間で結んだ条約によって、神奈川（横浜）や長崎などの港が開かれ、本格的な貿易が開始されました。この条約の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|---------|-------------|
| 1. 日米和親条約 | 2. 日清修好条規 | 3. 下関条約 | 4. 日米修好通商条約 |
|-----------|-----------|---------|-------------|
- 問5 幕末の長州藩士で、私塾である松下村塾を開き多くの人材を育てたが、大老の井伊直弼が行った安政の大獄によって処刑された人物は誰ですか。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 吉田松陰 | 2. 大塩平八郎 | 3. 坂本龍馬 | 4. 高野長英 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問6 1842年、江戸幕府はそれまでの強硬な対外政策を改め、外国船に燃料や水を与えて退散させる「薪水給与令」を出しました。この政策転換の直接的な背景となった、イギリスが清を破ったアジアでの出来事として正しいものはどれですか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|---------|-------------|
| 1. アヘン戦争 | 2. ペリー来航 | 3. 日清戦争 | 4. ロシアの南下政策 |
|----------|----------|---------|-------------|
- 問7 幕末の日本において、外国船への対応や開国をめぐる政治情勢の変化を示す3つの出来事、「異国船打払令」「日米和親条約」「桜田門外の変」を、年代の古い順に正しく並べたものを選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 日米和親条約 → 桜田門外の変 → 異国船打払令 | 2. 異国船打払令 → 日米和親条約 → 桜田門外の変 | 3. 異国船打払令 → 桜田門外の変 → 日米和親条約 | 4. 日米和親条約 → 異国船打払令 → 桜田門外の変 |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
- 問8 独立後のアメリカ合衆国で制定された合衆国憲法において、権力の集中を防ぎ国民の自由を守るために採用された、国家権力を立法・行政・司法の三つに分ける仕組みを何と呼びますか。 (2025年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|---------|
| 1. 三権分立 | 2. 直接民主制 | 3. 議院内閣制 | 4. 社会主義 |
|---------|----------|----------|---------|
- 問9 1860年代の日本において、長州藩が関門海峡を通る外国船を砲撃したことへの報復として、イギリス、フランス、アメリカ、オランダの4か国が艦隊を派遣し、下関の砲台を破壊・占領した出来事を何といいますか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-----------------|--------------|
| 1. 薩英戦争 | 2. 生麦事件 | 3. 四国連合艦隊下関砲撃事件 | 4. ノルマントン号事件 |
|---------|---------|-----------------|--------------|
- 問10 1858年、江戸幕府の大老であった井伊直弼が、アメリカとの間で結んだ条約の内容と背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 朝廷の許しを得ないまま調印し、神奈川（横浜）や長崎などの5港を開港して自由貿易を認めたが、日本側に不利な不平等条約であった。 | 2. 外国の商人が日本で罪を犯した際に日本の法律で裁く権利を確保したが、輸入品にかかる関税の決定権を失う内容であった。 | 3. ペリーの来航を受けて締結され、下田と箱館の2港を開港するとともに、アメリカ側に最恵国待遇を認めないことを条件とした。 | 4. 開国による混乱を防ぐために井伊直弼が朝廷から正式な許可を得て調印し、国内の物価を安定させるための関税自主権を確立した。 |
|---|---|---|--|
- 問11 幕末に結ばれた「日米和親条約」と「日米修好通商条約」の違いを説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 日米和親条約では横浜や長崎などの5港を開港したが、日米修好通商条約では下田と箱館の2港に限定して開港した。 | 2. 日米和親条約では領事裁判権を認めたが、日米修好通商条約では関税自主権を日本が獲得することで経済的自立を目指した。 | 3. 日米和親条約は井伊直弼によって締結されたが、日米修好通商条約はそれ以前にペリーとの交渉によって締結されたものである。 | 4. 日米和親条約は燃料や水の補給を目的とした開港であったが、日米修好通商条約は商売を目的とした貿易の開始を定めたものである。 |
|--|---|---|---|
- 問12 19世紀半ば、清がイギリスに敗北したアヘン戦争の結果を受け、江戸幕府は対外政策を変更しました。このとき、海岸に近づく外国船を無差別に攻撃することをやめ、燃料や飲料水を与えることを認めた法令の名称として正しいものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 1. 薪水給与令 | 2. 異国船打払令 | 3. 武家諸法度 | 4. 日米和親条約 |
|----------|-----------|----------|-----------|
- 問13 1858年に日米修好通商条約が結ばれた後、日本は欧米諸国との貿易を開始しました。この貿易の開始が国内の経済に与えた影響と、物価の変動について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 政府が地租改正を実施して税制を安定させたことで、輸出入のバランスが保たれた | 2. 海外から安価な綿織物が大量に流入したことで、国内の産業が活性化し物価が安定した | 3. 生糸や茶などの品物が大量に輸出されたことで国内で品不足となり、物価が急激に上昇した | 4. 労働環境の改善を求める全国水平社の運動により、物価上昇を抑えるための賃金改定が行われた |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 輸入品にかかる税率（関税）を、日本が独自に決めることができず、相手国との協議によって決めなければならなかったこと。	関税自主権の欠如とは、自国に入る輸入品に対してかける税率を、自国の判断で決定する権利がない状態を指します。日米修好通商条約では、関税率が協定によって定められたため、日本は国内産業を保護するために税率を上げるといった柔軟な対応ができなくなりました。これと並んで、日本の裁判権が及ばない領事裁判権の容認も、当時の日本が主権を完全に行使できない不平等な状態であったことを示しています。
問2	答え 1 天皇を政治の中心に据えて敬うとともに、日本に迫る外国の勢力を武力で排除しようとする考え。	幕府が外国の圧力に屈して開国したことへの不満が、天皇を敬う心（尊王）と結びつき、外国勢力を追い出そう（攘夷）という激しい運動に発展しました。この思想は、単なる排外主義にとどまらず、次第に無力な幕府を倒して天皇を中心とした新しい国をつくろうとする「倒幕」のエネルギーへと変化していきました。後に初代内閣総理大臣となる伊藤博文も、若い頃はこの思想の影響を強く受けていました。
問3	答え 4 対立していた薩摩藩と密かに手を結び、武力によって幕府を倒す準備を進めた。	四国艦隊の下関砲台占領により、長州藩は単独での攘夷が不可能であることを痛感しました。同様にイギリスとの戦争（薩英戦争）を経験していた薩摩藩も、海外の進んだ技術を取り入れる必要性を感じていました。両藩はそれまで対立関係にありましたが、土佐藩出身の坂本龍馬や中岡慎太郎の仲介によって、1866年に薩長同盟を締結しました。これにより、倒幕に向けた強力な軍事的・政治的基盤が確立されることとなりました。
問4	答え 4 日米修好通商条約	1858年に締結されたこの条約は、1854年の日米和親条約（下田・箱館の開港）から一歩進み、貿易を目的として横浜、長崎、新潟、兵庫などの開港を定めたものです。幕府は大老の井伊直弼が天皇の勅許を得ないまま調印を強行したため、のちの安政の大獄や桜田門外の変につながる政治的混乱を招きました。
問5	答え 1 吉田松陰	吉田松陰は長州藩出身の思想家・教育者で、私塾の松下村塾で高杉晋作や伊藤博文らを育てました。しかし、幕府の政策を批判したため、井伊直弼による安政の大獄で処刑されました。大塩平八郎は天保の飢饉の際に大坂で挙兵した人物で、高野長英は蛸社の獄で処罰された蘭学者です。
問6	答え 1 アヘン戦争	当時のアジアの大国であった清が、イギリスとのアヘン戦争に敗れたというニュースは、オランダ風説書などを通じて江戸幕府に大きな衝撃を与えました。幕府は、強力な軍事力を持つ西洋列強と武力で衝突することを避けるため、1825年から続けていた異国船打払令を緩め、穏健な対応へと方針を転換しました。
問7	答え 2 異国船打払令 → 日米和親条約 → 桜田門外の変	江戸幕府は1825年に外国船を撃退することを命じた「異国船打払令」を出しましたが、その後、1854年にアメリカのペリー来航を受けて「日米和親条約」を締結し、開国へと踏み切りました。さらにその後の1860年、強引に開国を進めた大老の井伊直弼が「桜田門外の変」で暗殺され、幕政の混乱が深まりました。出来事の推移は、鎖国の継続（異国船打払令）から、開国（日米和親条約）、そして開国をめぐる対立（桜田門外の変）という順序になります。
問8	答え 1 三権分立	モンテスキューが『法の精神』で提唱した考え方に基づき、権力が一箇所に集中して独裁が行われるのを防ぐために導入されました。アメリカ合衆国は、この三権分立を厳格に取り入れた世界初の近代共和制国家となりました。大統領（行政）、連邦議会（立法）、裁判所（司法）がそれぞれ独立し、互いに抑制し合う仕組みになっています。
問9	答え 3 四国連合艦隊下関砲撃事件	長州藩は攘夷（外国勢力を排除すること）を断行しましたが、列強の圧倒的な軍事力を前に敗北しました。この経験により、長州藩は武力による攘夷が不可能であることを悟り、秘密裏に軍備を近代化させ、後の倒幕運動へと方針を転換する重要な転換点となりました。
問10	答え 1 朝廷の許しを得ないまま調印し、神奈川（横浜）や長崎などの5港を開港して自由貿易を認めたが、日本側に不利な不平等条約であった。	大老の井伊直弼は、1858年に天皇の許し（勅許）を得ないまま「日米修好通商条約」を結びました。この条約では、先に結ばれた日米和親条約の2港に加え、新たに神奈川・長崎・新潟・兵庫の開港が決められ、商売を目的とした自由貿易が始まりました。しかし、日本に領事裁判権（治外法権）がなく、関税自主権も欠いているという点で、日本にとって非常に不利な不平等条約であったことが特徴です。
問11	答え 4 日米和親条約は燃料や水の補給を目的とした開港であったが、日米修好通商条約は商売を目的とした貿易の開始を定めたものである。	1854年の日米和親条約は、ペリーの来航を受けて結ばれたもので、下田・箱館の開港、薪水の供給、難破船の救助などが主な内容であり、貿易は行われませんでした。これに対し、1858年の日米修好通商条約は、総領事ハリスとの交渉によって結ばれ、新たに神奈川（横浜）などの港を開いて自由貿易を行うことを決定しました。開港された港の数や目的（補給か貿易か）を区別することが重要です。
問12	答え 1 薪水給与令	アヘン戦争でイギリスが勝利したニュースは、幕府に強い危機感を与えました。それまでの「異国船打払令」は、見慣れない外国船を見つけ次第砲撃するという非常に攻撃的なものでしたが、不必要な武力衝突を避けるために1842年に「薪水給与令」が出されました。これにより、漂着した船に薪（燃料）や水、食料を提供して立ち去らせるという柔軟な対応に切り替えられました。
問13	答え 3 生糸や茶などの品物が大量に輸出されたことで国内で品不足となり、物価が急激に上昇した	幕末の開港後、主要な輸出品であった生糸や茶が海外へ大量に流出したため、国内市場ではこれらの品物が不足しました。さらに、日本と外国との金銀の交換比率の違いから、日本から大量の金流出したことを防ぐために幕府が質の悪い貨幣を大量に発行したことも重なり、急激なインフレーション（物価の上昇）を招きました。選抜肢にある地租改正や全国水平社は、明治時代以降の出来事であり、幕末の経済混乱とは直接の関係はありません。